九州地方

名前

問1　鹿児島市の沿岸部において、1983年には海だった場所が2004年には「みなと大通り公園」や「水族館」が位置する陸地へと変化した。このような地形の変化をもたらした背景として正しいものはどれか。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 都市機能の拡充を目的に、土砂などで海を埋め立てて新たな土地を造成した。
2. 大規模な地震によって地盤が急激に隆起し、海面下だった場所が陸地になった。
3. 火山の噴火によって流出した溶岩が海岸線に到達し、冷えて固まることで土地が広がった。
4. 地球温暖化の影響で海面が低下したことにより、浅瀬だった場所が自然に陸地化した。

問2　種子島が、16世紀における歴史的な役割と、現代における科学技術の拠点としての役割を同時に持っている理由について、その背景を説明した記述として最も適切なものはどれですか。（2018年 大阪府公立入試 類似）

1. 鉄砲の国産化に必要な砂鉄が豊富で技術を受け入れる土壌があった歴史と、ロケット打ち上げに適した低緯度で広大な東側の海という地理的条件が揃っているため。
2. 島全体が険しい山岳地帯であるため、かつては隠れキリシタンの潜伏先となり、現代ではその高低差を利用したロケットの垂直発射実験に最適だったため。
3. 九州本土に極めて近く物資の輸送が容易であったため、古くは武器の集積地となり、現代では宇宙産業の工場が集まる工業団地として発展したため。
4. 対馬海流の影響で一年中温暖な気候であるため、古くは熱帯作物の栽培法が伝わり、現代では精密機械であるロケットを湿度から守る管理施設が作られたため。

問3　九州地方南部の鹿児島県や宮崎県では、火山噴出物が積み重なってできたシラス台地が広く分布しています。この地域で、稲作ではなく豚や肉用牛などの飼育を行う畜産業が盛んになった理由として、地形の性質に触れた説明として最も適切なものはどれですか。（2020年 香川県公立入試 類似）

1. 標高が極めて高く、夏季の気温が上昇しないため稲の生育に適さなかったため
2. 土壌の水はけが良すぎて、水田に必要な水を保持することが難しかったため
3. 急峻な傾斜地が多く、機械を導入した大規模な耕作が困難であったため
4. 平坦な土地がほとんど存在せず、家畜を放牧するスペースしか確保できなかったため

問4　鹿児島市付近に広がる、標高約40メートルの平坦な台地について述べた次の文を読み、空欄にあてはまる内容の組み合わせとして最も適切なものを選択肢から選びなさい。
「この地域は、かつての火山活動による噴出物が積み重なってできたシラス台地と呼ばれ、水が地下に染み込みやすく（ ① ）には適さないという特徴がある。そのため、かつては厳しい生活環境であったが、現在ではその土地の特性を活かして（ ② ）が盛んに行われている。」（2017年 滋賀県公立入試 類似）

1. ①果樹栽培
②稲作を中心とした大規模農業
2. ①畑作
②豊かな水源を活かした稲作
3. ①稲作（水田）
②畑作や茶の栽培、畜産業
4. ①畜産業
②ブドウやモモなどの果樹栽培

問5　日本の農業統計において、肉用牛の生産額シェアが全国の41%を超え、他の地方に比べて突出して高い割合を占めている地方はどこですか。（2024年 福井県公立入試 類似）

1. 九州地方
2. 北陸地方
3. 近畿地方
4. 東北地方

問6　九州地方南部や四国地方の太平洋側では、冬でも雪が少なく温暖な気候を利用して、ピーマンやきゅうりなどの促成栽培が盛んに行われています。このような温暖な気候をもたらす主な要因について、海流の性質に注目した説明として最も適切なものを選びなさい。（2023年 岡山県公立入試 類似）

1. 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。
2. 高緯度から冷たい水を運ぶ「寒流」である親潮が、太平洋の沿岸部を冷やしているため。
3. 日本海側を北上する対馬海流が、対馬海峡を通じて太平洋側に大量の熱を供給しているため。
4. 大陸沿いに南下するリマン海流によって、冬の乾いた季節風が温められるため。

問7　鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、火山噴出物が堆積してできたシラス台地では、その土地の性質からどのような土地利用が一般的ですか。最も適切な理由と内容の組み合わせを選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 年間を通して気温が低く土壌が凍結するため、農地にはせず牧草地として利用されている。
2. 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくいため、古くから畑として利用されている。
3. 保水力が非常に高く、常に湿り気を帯びているため、大規模な水田地帯として利用されている。
4. 土壌に塩分が多く含まれており農作物の栽培に適さないため、主に工業用地として利用されている。

問8　日本の地方別畜産産出額に関する統計において、九州地方はある品目の産出額が約3348億円に達し、北海道や東北、関東といった他の地方を大きく引き離して全国で最も高い水準にあります。この品目は何ですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 乳用牛
2. 鶏
3. 豚
4. 肉用牛

問9　ある県の主要5市を比較した統計において、福岡市は面積割合が6.9パーセントと最小クラスである一方、人口割合は31.4パーセントと最大値を示しています。この数値から読み取れる、福岡市の社会的な特徴について述べた文として正しいものはどれですか。（2023年 岡山県公立入試 類似）

1. 人口割合が面積割合を大きく上回っており、人や機能が高度に集中している。
2. 面積割合が人口割合を大きく上回っており、居住空間にゆとりがある。
3. 人口と面積の割合が同程度であるため、過密による交通渋滞などの問題が起こりにくい。
4. 人口の流出が激しく面積あたりの人口が減少しているため、過疎化対策が必要である。

問10　日本の農産物の統計において、茶の生産量は全国第2位（34%）ですが、生産額では全国の31%を占めて第1位（2019年時点）となっている都道府県はどこですか。（2022年 三重県公立入試 類似）

1. 鹿児島県
2. 千葉県
3. 三重県
4. 静岡県

問11　沖縄県の県庁所在地である那覇市の歴史的・地理的背景に関する説明として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。（2024年 大阪府公立入試 類似）

1. 沖縄本島のちょうど中央部に位置し、米軍基地を返還した跡地に計画的に作られた行政都市である。
2. かつての琉球王国の政治拠点であった首里に近く、古くから港町として発展した歴史を持つ。
3. 明治時代の廃藩置県において、鹿児島県の出先機関が置かれたことをきっかけに県庁所在地となった。
4. 九州地方の各県との物理的な距離が最も近いため、古くから九州の行政管区の一部として発展した。

問12　鹿児島県の地形別面積割合に関する統計において、台地の占める割合は約20.8パーセントとなっており、全国平均の約11.2パーセントと比較して非常に高い数値を示しています。このように、過去の火山活動による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された、九州南部に広がる台地を何と呼びますか。（2017年 滋賀県公立入試 類似）

1. カルデラ
2. シラス台地
3. 砂丘
4. 扇状地

答え合わせ・解説

問1	答え 1 都市機能の拡充を目的に、土砂などで海を埋め立てて新たな土地を造成した。	かつて海であった場所に公園や水族館などの大規模な施設が整備されているのは、人工的な埋め立てが行われた結果です。これにより海岸線が以前よりも沖合へ移動し、土地の利用形態が大きく変化しました。地盤の隆起や溶岩による変化ではなく、計画的な都市開発によるものです。
問2	答え 1 鉄砲の国産化に必要な砂鉄が豊富で技術を受け入れる土壌があった歴史と、ロケット打ち上げに適した低緯度で広大な東側の海という地理的条件が揃っているため。	種子島に伝わった鉄砲が短期間で国産化され全国に広まった背景には、島内で良質な砂鉄が採れ、刀鍛冶などの金属加工技術を持った人々がいたことが挙げられます。また、現代の宇宙センターの設置については、人工衛星を打ち上げる際に地球の自転を効率よく利用するために日本国内でも比較的赤道に近い低緯度であること、万が一の事態に備えて東側が太平洋に広く開けていることなどが決定的な理由となっています。
問3	答え 2 土壌の水はけが良すぎて、水田に必要な水を保持することが難しかったため	鹿児島県から宮崎県にかけて広がるシラス台地は、過去の火山活動による噴出物が堆積して形成されました。この土壌は粒子が細かく非常に水はけが良い（保水力が低い）ため、稲作に不可欠な水を溜めておくことが困難でした。このような地理的条件から、水不足に強いサツマイモや茶の栽培、そして広大な台地を有効活用できる畜産業が発展し、現在では日本屈指の畜産地帯となっています。
問4	答え 3 ①稲作（水田） ②畑作や茶の栽培、畜産業	九州南部に広がるシラス台地は、火山灰や火砕流の堆積物で形成されており、水持ちが非常に悪いという性質を持っています。そのため、古くから水不足に悩まされ、水田を作って米を育てることには向いていませんでした。現在では、この広大で平坦な土地と水はけの良さを利用し、サツマイモや茶の栽培、さらに豚や肉用牛などの飼育を行う畜産業が日本屈指の規模で展開されています。
問5	答え 1 九州地方	九州地方は温暖な気候と広大な土地を活かした畜産業が盛んです。特に鹿児島県や宮崎県などの南九州では、肉用牛のほか、豚や鶏（ブロイラー）の飼育頭数・生産額でも全国トップクラスのシェアを誇っています。
問6	答え 1 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。	黒潮（日本海流）は低緯度の暖かい海域から流れてくる「暖流」であり、周辺の気温を上昇させる働きがあります。この海流が九州南部から四国、関東にかけての太平洋沿岸を流れているため、これらの地域は冬でも温暖な気候が保たれています。この気候的特色は、ビニールハウスなどを利用して野菜の出荷時期を早める促成栽培にも活用されています。
問7	答え 2 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくいため、古くから畑として利用されている。	シラスは火山灰や軽石が堆積したもので、粒が粗く隙間が多いため、水はけが良すぎるという特徴があります。そのため、稲作に必要な水を溜めておくことが難しく、伝統的にサツマイモや茶などを栽培する畑作が行われてきました。現在は大規模な灌漑（かんがい）施設の整備により、さまざまな農業が行われています。
問8	答え 4 肉用牛	九州地方、特に鹿児島県や宮崎県は日本有数の畜産地帯です。広大な土地や気候条件を活かし、肉用牛の生産規模は全国で突出しています。一方で、乳用牛については北海道が全国の産出額の過半数を占めており、九州地方の特色とは異なります。
問9	答え 1 人口割合が面積割合を大きく上回っており、人や機能が高度に集中している。	福岡市の特徴は、県全体に占める面積の割合に対して、人口の割合が圧倒的に大きい点にあります。この数値の乖離は、県内の人や経済活動、行政機能などが福岡市という限られた範囲に極度に集中していることを示しています。その結果として高い人口密度が形成されており、九州地方における地方中枢都市としての機能を果たしています。
問10	答え 1 鹿児島県	茶の生産において、かつては静岡県が生産量・生産額ともに圧倒的な首位でしたが、近年は大規模な機械化が進んだ地域が台頭しています。特に、シラス台地などの平坦な土地を利用して効率的な生産を行い、早期収穫が可能な品種（新茶）をいち早く出荷することで、生産額において全国トップクラスに成長したのがこの県の特徴です。
問11	答え 2 かつての琉球王国の政治拠点であった首里に近く、古くから港町として発展した歴史を持つ。	那覇市は、琉球王国の王府があった首里の外港として古くから海外貿易などで栄えてきました。1879年の沖縄県設置（琉球処分）の際に県庁が置かれ、現在では那覇空港や那覇港を抱える沖縄の玄関口として、また、県内で最も人口の多い中心都市としての役割を担っています。
問12	答え 2 シラス台地	九州南部に広がるこの台地は、過去の巨大噴火による火砕流の堆積物（シラス）や火山灰によって形成されました。水はけが非常に良く、水持ちが悪いため、古くから稲作には不向きとされ、サツマイモや茶などの畑作、あるいは大規模な畜産業が発展する要因となりました。鹿児島の地形的な特徴を語る上で欠かせない要素です。